



Nihon Clinic

日本クリニック



October & November, 2015



米国内の日本クリニック

CHICAGO

(847) 952-8910

SAN DIEGO

(858) 560-8910

Nihon Clinic

2010 S. Arlington Heights Rd.
Suite 101
Arlington Heights, IL 60005

予約:(847) 952-8910

内科:(847) 758-8080

小児科:(847) 640-5437

カイロ科:(847) 956-3250

ウェブサイトもご利用下さい。

Website: www.nihonclinic.com

E-mail: chicago@nihonclinic.com



今月の健康ニュースレター (Monthly)



◆◆◆ インフルエンザの予防接種について 1 ◆◆◆



10月に入り、急に涼しくなりましたね。今年も既に周りの薬局等でインフルエンザの予防接種が始まっています。皆様はインフルエンザの予防接種は済みましたか？

● 昨年のインフルエンザのポイント ●



昨年は例年よりも早くにインフルエンザの流行が始まり、11月、12月に既に初期のピークが起こりました。その後はやや落ち着きましたが、春になって再度流行り、5月位まで診られました。昨年は、予防接種のウィルス株が流行した型とは異なり効果が例年と比較して低かったため、早めの流行が起こったと考えられます。



● インフルエンザのウィルス株 ●

毎年インフルエンザは寒い季節になると現れますが、どれだけ流行るか、何時ピークをむかえるかは、なかなか予想が困難です。

しかし、インフルエンザに対する一番確実な予防方法は予防接種を受ける事には変わりはありません。

インフルエンザのワクチンは、毎年その年の流行株を予想して作られます。過去には3種類のウィルスを対象に作られましたが、最近では4種類のウィルスを対象とするワクチンが使用開始になりました。現在では3種類のものと4種類のものが両方とも使用されています。

3種類のものは、A型が2種類、B型が1種類のウィルス株が含まれていましたが、4種類のウィルスを含むワクチンはA型、B型が各種2種類含まれ、合計4種類のウィルス株が含まれています。

◎ 今後は徐々に4種類のもので統一されると思われます。



● 今年のポイント ●

今年も過去数年と同じように、一部の例外を除いて、生後6ヶ月以上の方には全員予防接種を受けることをお勧めしています。中でも、インフルエンザにより重篤な状態に悪化するリスクが高い方は、特に早めの接種をお勧めします。

【リスクの高い方】

- 65歳以上の方
- 妊婦
- 糖尿病、喘息などを含む慢性的の疾患をお持ちの方



【昨年と今年の変更点】

① 昨年は2歳から8歳の年齢層は、FLUMIST（鼻から注入するスプレー状ワクチン）の方が効果的と言われていました。しかし新たな研究の結果、注射と比較して差は無い事がわかりました。今年はどちらでも可能なほうを接種してください。

② 生後6ヶ月～8歳までのお子様は、場合によっては2回接種が必要となります。

◎ 過去に2回以上予防接種を受けている方は、1回接種で十分です。

今年初めて接種する方、過去に1回しか打ったことのない方、記録が無く定かではない方は2回の接種が必要となります。



③ 今年の予防接種は、昨年のものと比べてウィルス株の種類が異なります。



～ 裏に続く ～



October & November, 2015



米国内の日本クリニック

CHICAGO

(847) 952-8910

SAN DIEGO

(858) 560-8910

Nihon Clinic

2010 S. Arlington Heights Rd.
Suite 101
Arlington Heights, IL 60005

予約:(847) 952-8910

内科:(847) 758-8080

小児科:(847) 640-5437

カイロ科:(847) 956-3250

ウェブサイトもご利用下さい。

Website: www.nihonclinic.com

E-mail: chicago@nihonclinic.com



今月の健康ニュースレター (Monthly)

◆◆◆ インフルエンザの予防接種について 2 ◆◆◆

【接種の方法】

- 9歳以上の方は1回接種
- 生後6ヶ月~8歳までのお子様は、場合によっては2回接種が必要

※ 通常、予防接種を打ってから抗体ができるまで約2週間かかります。

家族の方がインフルエンザに罹ってから予防接種を打っても、すぐに効果は期待できません。

【予防接種の種類】 ~ 今年当院で扱っている予防接種の種類を説明します。~

◆FLUMIST (フルミスト) / 4種株

注射ではなく、鼻から注入するスプレー状のワクチンです。

【接種対象】

- 2歳（当院では6歳）~49歳の慢性疾患を持たない方対象

《注意事項》

- 生ワクチンのため、妊婦・肺、心、腎疾患を持っている方、糖尿病の方は対象外
- 鼻の粘膜から吸収されるため、鼻づまりのある方は吸収が悪くなる可能性があり、従来の注射をお勧めします。
- 小さなお子様は、注入した後すぐに鼻から出してしまう可能性が高いので、当院での接種対象は6歳以上としています。

◎当院でも過去に子供にFLUMISTを投与しましたが、小さなお子様は接種後すぐに噴出してしまうことが多いようです。吸収されかどうか不安になる方も多いので、6歳からのお勧めにしておりますが、希望であれば6歳未満でも接種可能です。

◆高容量インフルエンザワクチン / 3種株

65歳以上の方を対象とした、通常のインフルエンザのワクチンより容量の多い予防接種の使用が、近年一般的になっています。

【接種対象】

- 65歳以上の方

65歳以上の方は、インフルエンザによる合併症の発生率が高く、インフルエンザによる入院例の約6割を占めています。又、最近のデータによると、従来のワクチンでは、65歳以上の方には抗体が十分に出来ないことが判明し、又抗体能力が低下するのも早いようです。抗体が少ないと感染に対する予防力も弱くなるため、近年高容量が多く使われるようになりました。当院でも、65歳以上の方は高容量を使用しています。

《注意事項》

- 高容量ワクチンを使うことにより、抗体が多く反応するとのデータが出ていますが、副作用もやや強めのようなようです。
- お子様で2回接種が必要な場合は、出来る限り同じ場所で同じ種類のワクチンを接種することをお勧めします。（製薬会社により、製造過程に多少の違いがあるため。）特に、FLUMISTと予防接種の組み合わせはお勧めできません。

《~ Q&Aに続く~》





Nihon Clinic

日本クリニック

October & November, 2015



今月の健康ニュースレター (Monthly)

◆◆◆ インフルエンザの予防接種 Q&A ◆◆◆



米国内の日本クリニック

CHICAGO

(847) 952-8910

SAN DIEGO

(858) 560-8910

Nihon Clinic

2010 S. Arlington Heights Rd.
Suite 101
Arlington Heights, IL 60005

予約: (847) 952-8910

内科: (847) 758-8080

小児科: (847) 640-5437

カイロ科: (847) 956-3250

ウェブサイトもご利用下さい。

Website: www.nihonclinic.com

E-mail: chicago@nihonclinic.com



Q1. 予防接種を受けてもインフルエンザになってしまったのは何故?

- A1) 予防接種を受けた後、すぐに感染したから
- A2) 予防接種の型が外れたから
- A3) 予防接種をしても抗体ができなかったから
- A4) インフルエンザでは無い、その他の風邪に罹ったから



Q2. 予防接種を受けてインフルエンザになることはありますか?

- A1) ありません。インフルエンザのワクチンは、不活化又は弱毒化ワクチンのため、予防接種を受けて病気になることはありません。



Q3. どのくらいの期間効果があるの?

- A1) 個人差があるため、明確な答えはありません。
- A2) 徐々に抗体の効果は低下しますが、1シーズンは維持できると予想されていますので、早めに受けることをお勧めします。10月中には接種するのが理想的。
- A3) 65歳以上の方は抗体が低下するのが早く、接種後半年ぐらいから低下し始めます。

Q4. 注射とスプレーと、どちらが効果がありますか?

- A1) どちらも同レベルの効果が期待できます。
- A2) スプレーの場合は生ワクチンのため、対象者の年齢制限や病歴により接種不可能な場合があります。
- A3) 接種者の年齢や病歴により、抗体が出来る反応に差はありますが、どちらがより効果的ということはありません。



ポイント

インフルエンザの一番の予防法は、予防接種を受けることです。

『自分の感染を予防する』『感染しても軽めの症状で抑える』以外にも、周りの方、特にインフルエンザの合併症を起こしやすい方・高齢者・慢性疾患をお持ちの方・6ヶ月未満のお子様への感染を防ぐためにも、毎年インフルエンザに対する予防対策をしっかりとることが大切です。



院内は勿論、ほとんどの薬局でも手ごろに予防接種が受けられます。

又、当院ではご家族皆様に受けられるように、今年も『Sunday Flu Shot』を3回実施いたします。是非ご利用ください。(詳しくはウェブサイトまで。)

